

令和4年度第7回気仙沼市防災フォーラム(第35回防災文化講演会)を開催しました (2023/1/24)

テーマ：市民みんなで考える防災、気仙沼市
会場：気仙沼市中央公民館（宮城県気仙沼市）

1月24日（火）、気仙沼市中央公民館を会場として、気仙沼市と同教育委員会主催、当研究所と気仙沼ESD/RCE推進委員会の共催、気仙沼市立小・中学校安全担当主幹教諭の皆様のご企画・運営で、「令和4年度気仙沼市防災フォーラム」が開催されました。本フォーラムは、当研究所が気仙沼市で開催している防災文化講演会の第35回目としての位置づけもあります。3年ぶりの対面での開催となる今回は、「市民みんなで考える防災」をテーマに、市内の中高生を始め、学校関係者や自主防災組織等地域住民約130名が参加しました。当研究所から佐藤翔輔准教授（防災社会推進分野）が参加しました。

今年度は、ポスターセッション、基調講演、実践発表、グループワークの構成で行われました。初の試みとなる生徒達によるポスターセッションでは「防災に関する自校の取組について」をテーマに、それぞれの学校での取り組みをまとめたものを展示・発表しました。基調講演では、佐藤准教授から「あのときをふりかえり、これからの津波防災を考える」の演題で講演、実践発表では、佐藤准教授が学校防災アドバイザーとして務める気仙沼市立大谷小学校の菅原基主幹教諭より「地域連携型学校防災体制等構築推進事業2年間の取組について」をお話いただきました。グループワークでは、「命を守るために何ができるか」をテーマに、「顔の見える繋がりが地域として必要」や「自分が主体的に判断できるようにしていく事が大事」など、活発に意見交換が行われました。最後に、佐藤准教授が講評を行い、盛会のうちに終わりました。



ポスター展示の様子



ポスターセッション



会場の様子



基調講演
佐藤翔輔准教授



実践発表
大谷小学校 菅原基主幹教諭



グループワーク